

第1位／札幌市長賞／室内楽賞

ジャン・チャクムル

トルコ



## Profile

トルコ人ピアニスト、ジャン・チャクムルは、2017年スコットランド国際ピアノコンクール、続く2018年第10回浜松国際ピアノコンクールで第1位となった。

これまでに母国トルコの主なコンサートホールを始め、アッシャーホール（エディンバラ）、サルコルトー（パリ）、ムジークヘボウ（アイントホーフエン）、フィルハーモニックホール（リトアニア）、アクトシティ（浜松）、ファツィオリ・ホール（サチーレ）等の著名なホールで演奏した。

また2015年のイスタンブル音楽祭ではオープニングコンサートにてボルサン・イスタンブル・フィルと協演、またボドルム・Dマリン・国際音楽祭等の著名な音楽祭にも出演している。

2014年、16歳でキシヒル響のオープニングコンサートに招聘された。これまでにトマス・セナゴー、高関 健、サッシャ・ゲッツェ、モデスタス・バルカウスカス等著名な指揮者との協演も果たしている。

ライターや話し手としても熱心に取り組んでおり、2015年から毎月トルコの音楽雑誌「Andante」に寄稿したり、自身のコンサートでは司会も務めている。

1997年トルコ・アンカラ生まれ。レイラ・ベケンシル及びアイシエ・カプタンのもとで音楽を学び始め、6年間師事した菅野潤やエムレ・シェンに多大な影響を受ける。2012年、アンカラの高校を卒業後、パリのスコラ・カントルムにてマルセラ・クルデリに師事し、2014年首席で卒業。以来、アリエ・ヴァルディ、クラウディオ・マルティネス・メーヤー、レスリー・ハワード、ロバート・レヴィン等多くの著名な音楽家との演奏機会に恵まれる。

イスタンブルにてドニゼッティ・クラシック音楽賞の「2015年ヤング・ミュージシャン賞」、また、2018年にはフランス・リスト・ヴァイマル音楽大学より大学の国際活動への貢献によりDAAD賞を受賞。リヒテンシュタイン国際音楽アカデミーからは奨学金を授与され、ミュージック・ウィークや、アカデミーが提供する音楽活動に定期的に参加している。

現在ヴァイマル音楽大学のグリゴリー・グルツマン教授の指導のもと研鑽を積んでおり、同時にベルギーのダイアン・アンダーセンとの活動を継続。TUPRAS社をスポンサーに、ピアノデュオ、ペキネル姉妹が主導する若い演奏者が国際舞台で活躍することを目的とした音楽教育プロジェクト：G & S Pekinel Young Musicians on the World Stagesに選出され、研鑽のためのグラランドピアノが供与されている。